

1. 単元名 漢字の組み立て方のひみつをさぐろう

2. 単元目標

- 「田」が使われている漢字の組み立てを考える中で、一つの漢字が、他の漢字の部分になると、形が変わることに気付くことができる。
- 同じ漢字でも、左右にあると縦に長くなり、上下になると平たくなることを意識しながら、字形を整えて書くことができる。

3. 単元計画(全2時間)

第1時 「田」が使われている漢字を使って、文字の組み立てを考えて、毛筆で書く。(本時)

第2時 文字の組み立てを意識して、選んだ文字を作品に仕上げる。

4. 指導上の立場

(1) 児童の実態

本学級の児童は、漢字の学習など、意識して文字を書く場面では、止め、はね、払いなどに気を付けながら書こうとする態度が見られる。しかし、ノートや連絡帳などに書く際は、それらに気を付けて書こうという意識が低い児童も多く、乱雑になりがちである。

第3学年から、毛筆による書写の学習が始まり、用具の使い方にもなれ、丁寧な文字を書こうと真剣に学習に取り組んでいる児童が多い。第4学年で、へんを伴う漢字を毛筆で大きく書く学習では、組み立てがうまくいかず、難しく感じられた児童が多いようだった。書写の時間全体を通してみると、自分なりに気を付けることを意識しながら、まじめに練習に取り組むことができている。

(2) 本時について

漢字は、へんやつくりなど、いろいろな部分が組み合わさってできている。字形を整えて書くためには、点画の長さや、大きさ、位置などに気を付けながら書く必要がある。また、同じ漢字でも、使われている部分によって、形が変わるものもある。

本時ではまず、「田」を抜いた文字を提示し、それぞれの漢字に「田」が入ることを話題にし、「田」の形に目を向けることができるようにする。〈考えをもつ場面〉では、考える手助けとなるようワークシートを用意する。「田」の部分の形を、試行錯誤しながら書いていくことによって、文字の組み立て方を自分でさぐっていきけるようにしたい。〈考えを交流する場面〉では、ワークシートに書いた「田」が、どのような形になったか、自由に発表させる。発表が一段落したところで、「田」の使われている場所が左右か、上下かで、グループ分けする。その後手本を提示し、ワークシートの「田」と比べながら話し合うことで、左右にくるときは、「縦長」、上下にくるときは「横長」になるということに気付かせていきたい。〈考えを深める場面〉では、学習した文字の組み立てを意識しながら、毛筆で書く活動を取り入れている。毛筆で書く際にも同じことに気を付ければ、字形を整えて書くことができるということに気付かせたい。

(3) 研究テーマとの関連

本時は、「田」が使われている漢字を取り上げて、左右にあると縦長になり、上下になると平たくなるという文字の組み立てに気付くことをねらいとしている。

まず、「田」のない文字を提示し、クイズ形式にして「田」が入ることを見付けさせることによって、興味をもちやすくする。めあてを意識できる活動の工夫としては、「田」の部分抜いた形のワークシートを用意する。何度も書いたり消したりすることによって、文字の組み立てのひみつを探っていくことができるのではないかと考えたので、用具は鉛筆にしたい。また、学んだことを生かせる活動の工夫としては、毛筆で「田」の形を意識して書く活動を取り入れる。4つの中から選んだ一文字を大きく書くことによって、字形を整えて書くことができたかどうかを確認させたい。大きく書いて形を確かめるためには、鉛筆よりも、毛筆を用いたほうが、書きやすいと考えたからである。その際、選んだ文字すべてを書くことは、4年生の段階では、負担が大きいため、ワークシートと同じ形式の用紙を使い、「田」の部分だけに意識を向けて書けるように工夫をする。第2時では、第1時で選んだ漢字を、半紙に書く活動を予定している。第1時で学習したことを生かして、「田」の形を意識しながら、作品に仕上げていくことができるようにしたいと考えている。

5. 本時案（第1時）

目 標	「田」が使われている漢字の組み立てを考えることで、一つの漢字が、使われる部分によって形が変わることに気付き、文字の組み立てを考えながら書くことができる。	
学 習 活 動	教 師 の 指 導 ・ 支 援	評価のポイント
1. めあてをつかむ。 2. ワークシートに書く。 ＜考えをもつ＞ 3. 考えを発表する。 ＜考えを交流する＞ 4. 選んだ文字を毛筆で書く ＜考えを深める＞ 5. まとめをする。	○「田」の部分抜いた、「男」、「畑」、「町」、「番」の4つの漢字を提示し、どんな漢字が当てはまるかを考えさせる。 ○「田」が入ればよいと気付いたところで、どれも同じ「田」が入るのかを話題にし、本時のめあてをつかませる。 「田」の変わりかたに気をつけて書こう。	
	○「男」、「畑」、「町」、「番」の、「田」の部分抜いたワークシートを用意し、形などを考えながら「田」の部分を書き込ませる。 ○可能な子どもには、どんな形にしたかを、言葉で書き込ませるようにする。 ※例を1つ示し、記入の仕方を提示する。 ○いくつかの形の「田」を用意し、どの田が当てはまるか考えやすくする。 ○どの漢字も同じ形になるか問いかけ、考えをもちやすくする。 ○ワークシートに、どんな「田」を書いたか発表させる。 ○それぞれの文字について手本を提示し、手本と自分のワークシートとを見比べながら、文字に合った組み立てを理解させる。	☆それぞれの漢字に合わせて、「田」の形を変えて書くことができた。 ☆☆それぞれの漢字に合わせて、「田」の変わり方を言葉で説明することができた。
	 「男」や「番」は横長に、「畑」や「町」は、縦長に書くと文字全体の形がよくなると思います。	
	○「男」、「畑」、「町」、「番」の中から一文字を選び、毛筆で書かせることで、それぞれの字に合った文字の組み立てを意識させる。 ○「田」の形に気を付けながら書くことが大切だということを伝え、意識を焦点化する。 ※「田」の部分以外はあらかじめ用紙に印刷しておく。 今日勉強したことを、他の字でも生かしてみたいな。 	☆「田」の形に気を付けながら毛筆で書くことができた。 ☆☆選んだ文字全体の組み立てを考えながら、「田」をあてはめて、毛筆で書くことができた。
	○どんなところに気を付けて、毛筆で「田」を書いたかを振り返ることで、本時のまとめとする。	

漢字の組み立てのひみつをさぐる

(

め

)

①自分がよいと思う「田」を書いてみよう。

②もとの「田」とくらべて、どんなことに気をつけて書いたか、ふき出しの中に言葉で書こう。

